



マックシールプレス (増刊号)



異病院 全面増改築完成！



日本晴れの下、当法人の中核施設である異病院のほぼ全面に亘る改築工事を完了するに至りました。

この2年間は仮設改修増築のくり返しでした。一連の工事に関わり、数々のご不便にご容赦を戴きましたこと、また完成に向け各方面からご尽力を戴いたこと等々、関係していただいた皆様にお礼を申し上げるとともに、期間中大過なく進行したことに安堵しています。そして何よりも、このような機会は利用者様、地域住民の方々の応援があつてのことと思っています。重ねて感謝申し上げる次第です。



理事長 異 孝彦

この工事には主に三つの目的がありました。まず二次救急医療機関として、耐震化整備を成し遂げること。次に、これからの求め求められる医療に対応する為の新棟の建設と、それに伴う既存棟の増改築です。新棟は365日24時間の救急での対応をより深めるため、整備し拡充もしました。救急初療室(ER)は従来の約2倍の広さを取り、ERの北面の引き戸を開くと駐車場と地続きとなり災害時にはさらに広い救護場所が確保できるようにしました。病室は心臓カテーテル治療をはじめとするより重度な患者様や高度な治療を必要とする方々に即応すべく構造的にも工夫をいたしました。病棟スタッフの存在をより身近に感じていただくため、どの病室もスタッフ・ステーションから廊下一つ挟んだ所にあります。そしてほぼ全室南向きです。消灯後の足元の安全を図る為、足元燈も付設しています。

外来は8室の診察室と2室の処置室の計10室です。内科、外科、整形外科そして総合科や特殊外来等々に午前診や夜診で対応いたします。

利用者様図書「天神文庫」も移転拡充しました。文庫には利用者様から多くの貴重な図書を寄贈していただきました。この場で改めてお礼を申し上げます。また、文庫に隣接するラウンジではケア・センターを置き介護用品の情報も発信していきます。

改築では特に健康管理センターに手を入れました。拡張もいたしました。センター内ですべての検査ができるように工夫もいたしました。‘病’は未然に防ぐ。早期発見と予防が肝要です。そのために気軽にこの健康管理健診センターを皆様方にご利用して頂ければと願っています。

耐震化も無難なされました。新しくなった建物と共に異病院の機能も一段と拡充しました。私どもは救急事態発生から在宅復帰まで継ぎ目のない医療と介護活動(Seamless health care system)を推進しています。今、正に進むべき道の扉が一つ開かれ、新しい世界が其処に広がっています。医療と介護、そしてそれらに付帯する活動をもっと身近なものに利用される貴方に感じていただく工夫をこれからも凝らしていきたいと思っています。それが安心感に繋がることの一つと考えるからです。

安全で、安心感があり、安定した医療介護活動の提供を地域の皆様へ問いかけながら、これからも目指してまいります。今後とも、倍旧のご支援をお願いいたします。



CT/MRI

最新のMRI装置は、検査精度を高めつつ、静穏性の向上も実現。



内視鏡検査

従来よりも負担と所要時間の少ない内視鏡検査を実施します。



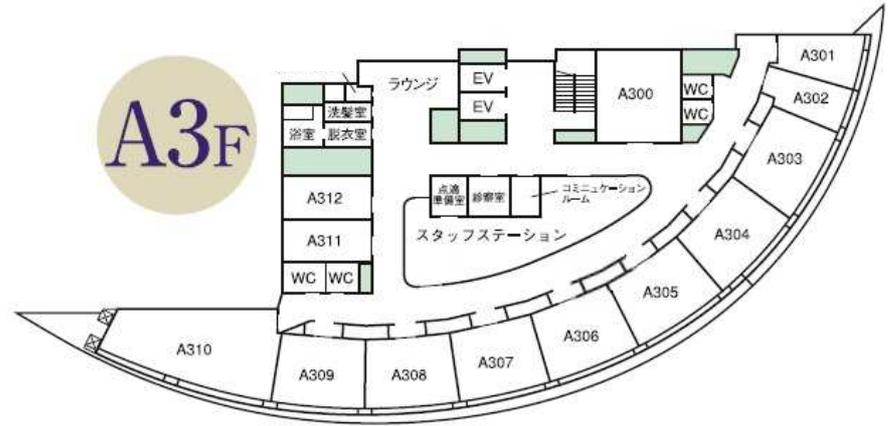
心臓血管センター

24時間対応の心臓カテーテル治療。



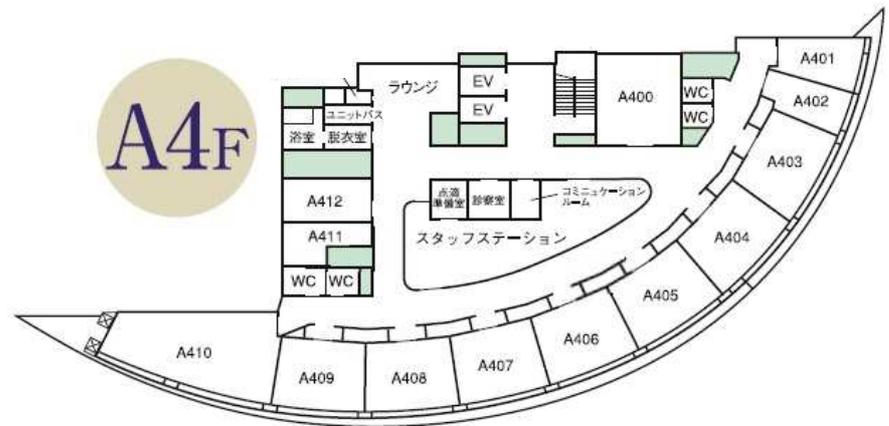
病棟通路

機能性が高く、病院然とした雰囲気緩和するデザイン。



スタッフステーション

常に病棟全体を見渡し、全ての患者様の容態を見守り続けます。



病室

プライバシーと開放感を両立させた病室は、治療への専念と安息の一時を提供します。



ベッドサイド（足元灯）

ベッドサイドで夜間歩きの道標となる足元灯。暖かみのあるライトアップは、安らぎをも感じ得ます。



病室（扉）

当院スタッフが、入院患者様との生活感を共有できるようにデザインされた、病室扉の木漏れ日。



血液浄化センター

夜間透析も行っております。



言語聴覚室

医師の診察結果に応じて、言語聴覚療法を受けていただくことが可能になりました。



病院外観



救急初療室

24 時間救急体制を堅持。救急外来と病棟担当医師 2 名が常駐しております。



化学療法・点滴室

設備の充実した化学療法室・点滴室。

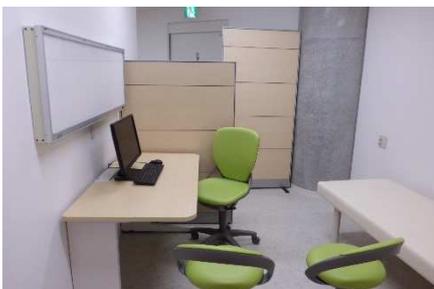
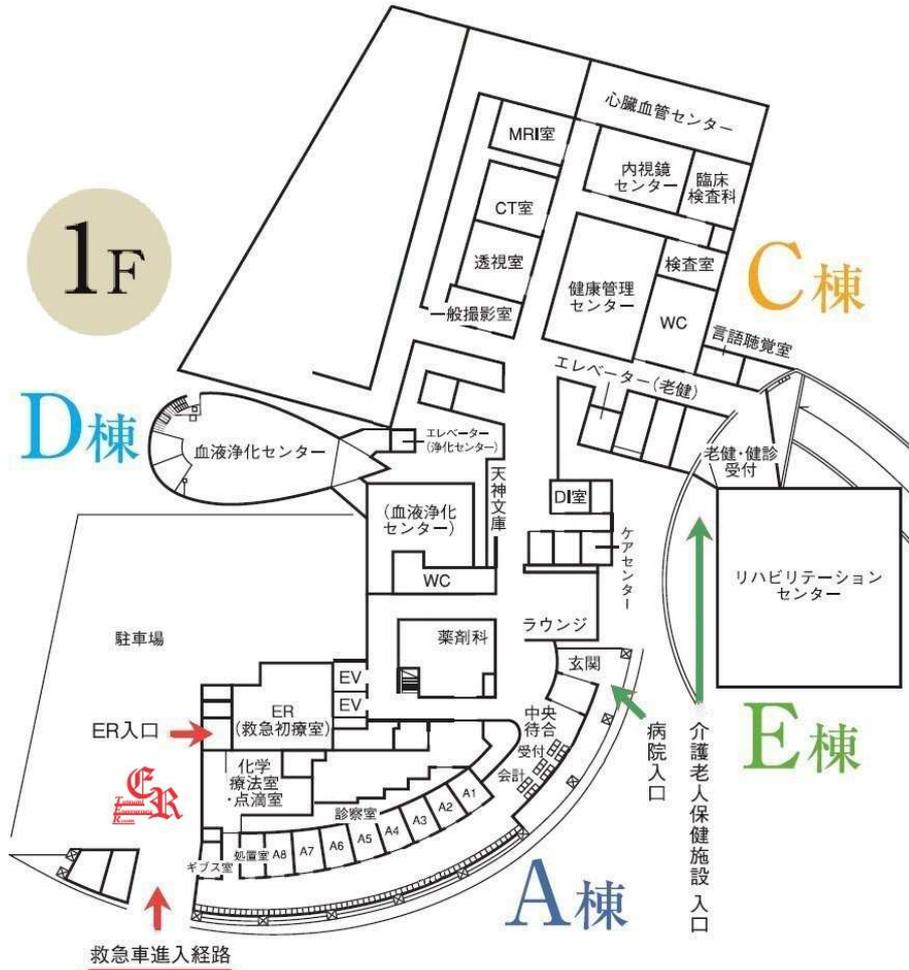


中央ロビー（フロント・会計）

人と木の温もり、モダンな椅子が調和する明るいエントランスが、来院された方々の不安を和らげます。



病院外観



診察室

個室性を高めた 8 つの診察室。プライバシーを保護することで、安心して診察を受けていただけます。



外来ロビー

診察室前の画面では、診察番号表示や休診・代診のお知らせ、その他色々な情報を常時放送しています。

心臓血管科のご紹介

心臓血管科について

当院での心臓血管科とは循環器内科と同じ意味で、主に血液の循環に関係する臓器(心臓、大動脈、末梢動脈、静脈、肺動脈)におきる病気を扱っています。狭心症、心筋梗塞、弁膜症、心筋症、心不全、不整脈などの各種心臓病の他、末梢動脈疾患(下肢の動脈硬化症など)や静脈血栓症などの診断・治療も行っています。



心臓血管疾患の症状

「胸が苦しくなる」、「胸が痛くなる」、「動悸がする」、「息苦しい」、「心電図がおかしいと言われた」、「歩くと足が痛くなる」、「足が数日間でむくんできた」などは心臓血管科の病気を疑わせます。

心臓血管科の病気は、症状が出てから病気の進行が速いものが多く、病院にたどり着くまでに亡くなってしまいう方もおられます。特に急性心筋梗塞、不安定狭心症、急性心不全、重症不整脈、大動脈解離、大動脈瘤、肺塞栓などでは最初の数時間以内の適切な初期治療の有無が生死を分けます。しかし、生命の危機が切迫した状態で来院した方が急性期の迅速な治療により危機を乗り越え、元気に歩いて退院する光景は、他科の病気にはない特徴と言えます。

心臓カテーテル検査、治療

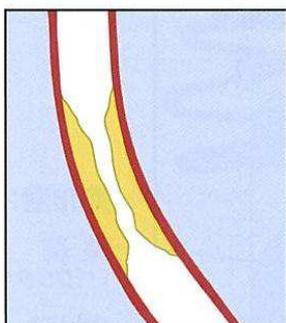
緊急性、即応性が命の循環器治療を行う為に、当科では24時間救急診療体制をとっており、夜間、休日も含めて可能な限り緊急カテーテル治療を行っています。

近年、循環器疾患の治療は進歩しており、特に非薬物療法の進歩は目を見張るものがあります。

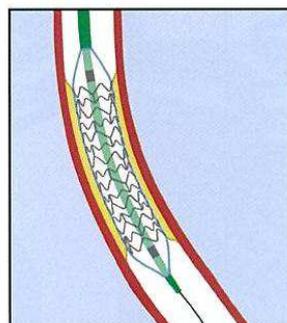
虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞)の治療である経皮的冠動脈形成術(風船治療)は、新しい装置や器具(薬剤溶出性ステントなど)の登場により、従来に比べてより安全確実となりました。左主幹部病変、分岐部病変、慢性完全閉塞病変などの複雑病変や下肢の動脈硬化病変にも血管内超音波(IVUS)を併用しながら、積極的にカテーテル治療を行っています。

重症の心機能低下例に対して、大動脈内バルーンポンピング(IABP)や経皮的心肺補助装置(PCPS)もベッドサイドで起動させることもでき、弱った心臓の補助を行います。

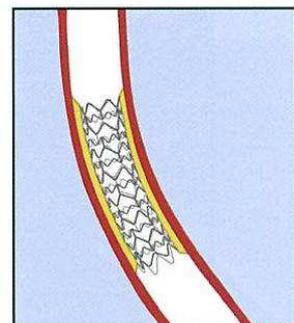
当院には心臓血管外科がないため冠動脈バイパス手術、弁膜症手術(人工弁置換術、弁形成術)、大動脈の手術(大動脈瘤、大動脈解離)などが必要と判断された患者様には、近隣の心臓血管外科のある施設への紹介を迅速に行っています。



治療前



ステントを血管内に留置



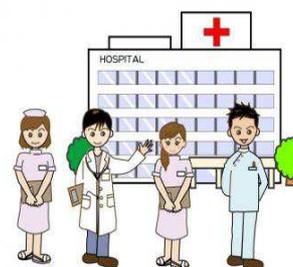
治療後



血管撮影システム（2012年入れ替え）

チーム医療

循環器疾患では、一人の患者さんの救急救命治療に複数の医師、看護師、検査技師、臨床工学技師などが同時に関わる場面が多いのも特徴のひとつです。この為、緊迫した状況下でも全員がチームの一員として適切に各自の役割を果たす「チームプレー」が欠かせません。また、急性期を乗り切った後の回復期においても、退院に向けてのリハビリ、退院後の生活指導などには医師以外の多くの医療職の連携によるチームプレーが不可欠です。この為、当科では医師、看護師、検査技師、薬剤師、ケースワーカー、事務職員が一体となったチーム医療を患者さんを中心に実践しています。



医療連携（病院と地域診療所との連携）の促進

専門的な検査や治療は得意でも、何となく敷居が高く、待ち時間の長い病院診療。一方、普段から気軽に受診できて、待ち時間も少なく通院も便利な地域の診療所。もし両者がお互いに欠ける部分を緊密な連携でカバーし合い、患者さんにとって最適な医療環境を提供する事が出来ればと、当科では地域医療連携を積極的に進めています。

専門的な検査や治療が必要な場合は、診療所の先生から当院へ紹介をして頂いております。治療で病状が安定したら、通院の便利な紹介元の先生への通院となります。診療所の先生方とは医療連携ネットワークカンファレンス、石橋循環器カンファレンス等で意見交換を行い、緊密に連携を行えるようにしています。



森田 Dr 蓑原 Dr 石河 Dr 土谷 Dr

最後に・・・

心臓血管科の病気は、高血圧、脂質異常症(コレステロールが高い)、糖尿病、喫煙、心臓病の家族歴がある人がなりやすいといわれています。繰り返すにはなりますが、心臓血管科の病気が少しでも心配な方、胸に症状がある方は迷わず外来受診をお願いします。

巽病院スポット紹介



巽病院救急入口

TER「Tatsumi Emergency Room」の徽章が目印。救急病院のもう一つの正面入口です。



巽病院正面玄関

新進気鋭の出で立ちで患者様をお迎えます。



ラウンジエリア

患者様専用の休憩スペースをご用意しました。大型モニターで診察番号が確認でき、安心です。各種杖やケアシューズの展示・販売も行っております。



天神文庫

当院定番の開架ブースが、待合ロビーにより近い場所でもリニューアルしました。日々蔵書量が増えています。



外来お手洗い

多目的トイレも設置し、車椅子の方も安心です。オストメイトの方もご利用いただけます。



外来駐車場

外来受診でお越しの場合は、割引があります。

巽病院 外来診療担当医表

午前診 診察 9:00～ (受付 8:00～11:30)

	月	火	水	木	金	土
内科	田中(雅)	高村	石河	白石	田中(雅)	尾崎
心臓血管科	石河	土谷	森田	石河	蓑原	土谷
総合	巽	蓑原	巽	蓑原	巽	澤田
整形外科	中尾	市川	大野	中村	中尾	第1. 3. 5 大野 第2. 4 市川
	中村			上島	※中井	
外科	戸田		戸田	大山	大山	西

夜診 診察 17:00～ (受付 16:30～19:00)

	月	火	水	木	金
内科	第1.3.5.田中(雅)	尾崎	森田	土谷	坂東
	第2.4.蓑原				
総合	巽	巽			巽
整形外科	中尾		大野	17:30～ 中野	
外科	(巽)		担当医	大山	
神経内科				斎藤又は 木村(紀)	

※印一部変更しました。

特殊外来

(予約要)	曜日	時間	担当医
乳腺・甲状腺専門外来	第1. 3 土	9時～12時	長田
女性外来	第2. 4. 5 土	9時～11時40分	竹谷(女医)
保存期腎不全外来	水	17時～18時	金川
AGA外来	土	12時～13時	蓑原
睡眠 呼吸障害外来	水	18時～19時	小田垣
	金	17時～19時	石河

(予約不要)※	担当医
心臓ペースメーカー外来	蓑原
膝/スポーツ外来	大野
手の外科外来	中村
睡眠 呼吸障害外来	高村
禁煙外来	高村

※担当医の診療時間内にお越し下さい

MRI・TV撮影の機器が、新しくなりより良い画像にて情報提供が出来る様になりました。
撮影時のご質問も担当技師にご相談ください。



異病院 〒563-0031 池田市天神 1-5-22

Phone 072-763-5100 (代)
Fax 072-763-5145

【医療部門】

- 内科（一般内科・消化器内科・腎臓内科・呼吸器科）
- 心臓血管科（循環器科・心臓血管外科）
- 外科（一般外科・消化器外科・肛門科）
- 整形外科・リウマチ科
- リハビリテーション科

【センター部門】

- 心臓血管センター
- 血液浄化センター【透析（夜間透析あり）】
- 内視鏡センター
- 総合リハビリテーションセンター
- 健康管理センター（人間ドック・企業健診・池田市委託健診）

異今宮病院 〒562-0033 箕面市今宮 3-19-27

Phone 072-727-7770 (代)
Fax 072-727-0222

異病院介護老人保健施設（入所・短期入所）
デイケアセンター（通所リハビリテーション）
〒563-0031 池田市天神 1-5-22

Phone 072-762-1980
Fax 072-762-1981

異病院訪問看護ステーション
（看護・リハビリテーション）

Phone 072-763-5126

ホームケアステーション（訪問介護）

Phone 072-763-5103

マックスシールドットコム（ケアプラン）

Phone 072-763-5001

マックスシールケアセンター（福祉用具貸与等）

Phone 072-763-5100

池田市石橋異地域包括支援センター

Phone 072-763-0363
Fax 072-763-0372

天神の家 〒563-0031 池田市天神 2-10-16
（通所介護）

Phone 072-760-3935
Fax 072-760-3965

